

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯-09 学校体育施設開放事業					ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門					202	学校体育施設開放事業	
主管課	スポーツ課 関連課							
分野名	スポーツ・レクリエーション							
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及を図ります。スポーツ行事事業の推進を図ります。 市民のスポーツ実施率を60%にする。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
	利用者数	341,124人	337,069人					
運営資源 状 況	決算値	19,085千円	19,221千円					
	(国・県)							
	(負担金等)	676千円	683千円					
	(一般財源)	18,409千円	18,538千円					
	人員配置数	0.8人	1.0人					
	人 件 費	7,153千円	8,717千円					
	協 働 の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	26,238千円	27,938千円					
	市民1人当 りの経費	149円	158千円					
	対象者1人 当りの経費	77円	83円					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 施設の整備及び備品の充実						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 限られた予算の中、ナイター照明設備の修繕を行った。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 施設の整備及び備品の充実						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	スポーツ施設の整備状況が十分とは言えない中、市内にある有効な資源であり、スポーツ施設として引き続き活用を図っていく。			評価結果	改善の必要性	学校との連携を密にして協力を得ながら引き続き活用を図っていく。	
A	有				A	有		
課長名		小池 忠紀			部名・部長名		生涯学習部長 植松 芳子	